

再評価（3年次評価）結果票

大川保育園

1 再評価実施日

平成29年11月14日

2 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

3 再評価結果（※評価結果・・・平成23年 1月 28日実施）

◎（1）保育課程	
評価結果	保育課程のねらいと内容が、各年齢を通じて一貫性のあるものとなることと、見直しについては、年1回実施されることが望まれていました。
再評価結果	保育課程は保育理念や保育の基本方針を踏まえ、保育所保育指針に基づき編成されています。保護者へのアンケート調査結果も考慮し、年に1回見直しが行われています。

◎（2）指導計画	
評価結果	年間、月間、週間の指導計画については、保育課程のねらいや内容に対応した一貫性のある計画であることが望まれていました。
再評価結果	年間、月間、週間の指導計画は、保育課程や保育所保育指針のねらいや内容に対応し、子どもの年齢に応じた発達を配慮して作成され、一貫性のある計画になっています。

◎ (4) ケース会議等	
評価結果	気になる子どもについて、職員会議や未満児会議等で話し合いが必要に応じて行われています。その結果が保育実践に生かされ、保護者との連携も図られています。しかし、ケース会議が計画的に適切な間隔で開催されることが望まれていました。
再評価結果	特に配慮を要する子どもについて、ケース会議が計画的に適切な間隔で開催され、発達状況の確認や援助方法等が話し合われています。

◎ (7) 感染症への対応	
評価結果	感染症の発生時における嘱託医や関係機関との連携内容や感染症に関する研修内容を記録することが望まれていました。
再評価結果	感染症の発生時や流行期は、嘱託医と連絡を取り、その対応について指示を受けています。また、感染症に関する職場研修を実施し、記録として残されています。

◎ (24) 保護者との相互理解	
評価結果	9月～3月までの期間でクラス毎に日程を設け、クラス懇談会及び個人面談が行われていますが、全保護者を対象としたものではありません。 今後は、全保護者を対象とした定期的な個別懇談の実施が望まれていました。
再評価結果	全保護者を対象とし、定期的にクラス懇談会と個人懇談会を実施しており、報告書としてまとめられ、その記録は日常の保育や指導に役立っています。

◎ (32) 実習生や保育体験・ボランティアの受け入れ

評価結果 実習生、保育体験、ボランティアそれぞれに対して受け入れに当たっての保育園の方針を明文化するとともに、保護者への周知が望まれていました。

再評価結果 例年、実習生、保育体験、ボランティアを受け入れており、対象毎に、保育園の概要、方針、受け入れの意義等を明記した「しおり」を作成し、配布しています。また、受け入れに当たっては、全職員が「実習生等指導の心得」に沿って指導を行っています。
保護者及び地域住民に向けては、受け入れの期日や意義、方針を明記し、屋外掲示板で周知しています。

◎ (36) 守秘義務の遵守と記録の管理

評価結果 秘密についての認識等について職場研修を実施することや記録の管理に関する規程を定め、適切に管理すること、組織として遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行うことが望まれていました。

再評価結果 守秘義務の遵守については、就業規則、個人情報管理規定、職員倫理綱領が定められるとともに、職員会議等で職員に周知されています。個人記録、指導記録、保育日誌、日報等は事務室で適切に管理していました。

◎ (38) 安全・衛生管理

評価結果 食中毒などが発生した場合の対応については、食中毒通報体制表に沿った対応が確実にできるように職員へ周知をし、全職員で食中毒についての理解を深めることが望まれていました。

再評価結果 食中毒対応マニュアルを作成し、全職員に周知しています。また、このマニュアルに沿った対応が、迅速かつ確実に行われるように、ワークショップ形式の園内研修を行う等、食中毒についての理解を深めています。